



2024年3月22日

各 位

会 社 名 電気興業株式会社
代表者名 代表取締役社長 近藤 忠登史
(コード番号 6706 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 浅井 貴史
(TEL. 03 - 3216 - 1671)

中期経営計画の見直しとローリングプラン策定のお知らせ

当社は、2024年3月22日開催の取締役会において、2022年5月20日に開示いたしました中期経営計画「DKK-Plan2025」（2023年3月期～2025年3月期）の内容を見直し、新たにローリングプランを策定・決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 見直しの背景

当社では、2023年3月期を初年度とする中期経営計画を策定し、サステナビリティ経営の推進による企業価値の向上を基本方針として、「経営基盤の強化」「事業ポートフォリオの最適化」「新規事業創出の早期実現」を重点施策として取り組みを進めてまいりました。しかしながら、エネルギーや部品価格等の高騰や既存顧客の設備投資抑制が継続しており、価格改定の遅延や新規事業創出の遅れも要因として、直近の業績は当初の計画を大幅に下回る見通しです。このような外部環境の変化に対応できる体制や基盤を構築し、早期の業績回復を目指すため、中期経営計画のローリングプランを策定することといたしました。

2. ローリングプランの位置づけと方針

現中期経営計画期間である2025年3月期より、抜本的な事業構造改革、財務戦略を断行することで事業の変革を進め、業績の改善を果たし、次期中期経営計画「DKK-Plan2028」における成長の実現・加速につなげます。

<方針>

事業構造改革による収益体制の構築

(収益改善のための構造改革)

- ・市場環境を見据えた注力セグメントの選定と強化

- ・組織のスリム化とリソースの集中
- ・業務効率化と働き方改革

(中長期的な成長戦略)

- ・コア技術の深耕と中長期を見据えた研究開発の選択と集中
- ・事業戦略の遂行も見据えた人的資本戦略の実行

(適切な資本構成)

- ・アセットライト経営の推進
- ・資本コストを意識した経営と事業活動の浸透
- ・安定的な株主還元を実現するための基盤づくり

3. 数値目標

「DKK-Plan2025」の数値目標の達成年度を2年延期し、2027年3月期での達成を目指すとともに、新たな定量的目標として営業利益を設定いたします。

外部環境の変化に迅速に対応し、選択と集中の徹底、コスト構造の見直しにより、早期の業績改善、数値目標の達成を実現いたします。

	2025年3月期 当初計画	2024年3月期 着地予想	2025年3月期 見通し	⇒	2027年3月期 目標
売上高	430億円	305億円	330億円		400億円
営業利益	—	▲15億円	5.0億円		18億円
当期純利益	20億円	▲11億円	4.0億円		18億円
D/E レシオ	0.2~0.3倍	0.15倍	0.16倍		0.2~0.3倍
ROE	5.0%	—	1.1%		5.0%

詳細につきましては、別紙資料「中期経営計画 DKK-Plan2025 ローリングプラン」をご参照ください。

以 上